

マンツーマンコミッショナー帯同制の導入について

1. 狙い

広島県におけるマンツーマンのさらなる推進のため、マンツーマン基準規則の共通理解とコミッショナースキルの向上を狙い、マンツーマンコミッショナー（MC）の帯同制を導入します。導入にあたっては2021年度をトライアルとし、2022年度から本格導入する予定です。

2. 福山地区での MC 帯同制のトライアル（全国大会福山地区予選（2020年11月）での反省点抜粋）

- ・ 2020年9月に周知し準備を進めたので、各チームともある程度の理解をして取り組んでもらえた。
- ・ MC 未経験者が多く最初は旗が上がらなかったが、試合が進むにつれ徐々に上がるようになった。また、問題点や様々なケースでの対処方法を確認しながら進めたので、意識が高まった。
- ・ しかし、審判と違って細かいルールが整備できていないことで認識の違いが多く、人によって判定に相当影響があった。今後は、講習会を充実させて理解度を上げていく必要がある。

3. MC 帯同制導入に対する各地区 MC 担当の意見

(1) メリット

- ・ 各チームに必ず MC を担当する人がいることで、マンツーマン意識の向上に繋がる。
- ・ MC のスキル差が縮まる。また、このことで特定の人への負荷が下がる。
- ・ マンツーマン意識が向上することで判定への議論が起これり、議論を重ねることで更なる技術の向上と判定への信頼度が上がる。

(2) デメリット

- ・ チーム数が少ない、あるいは指導者が少ないチームは、指導・審判・MC と兼務状態になり、休む暇がない。現状、全体で配分を考えて割り当てしている。
- ・ MC の間で、判定の濃淡がかなり出る。

4. MC 帯同制を導入した際のデメリット解消策

(1) MC の派遣体制の充実

普及・育成委員会のメンバーを中心に、各種大会に MC を派遣できる体制を整えます。

(2) マンツーマン推進・MC 講習会の継続開催

広島地区では、4/25（日）の地区登録・前期リーグ戦抽選会の場で講習会を開催します。

5. MC の資格について

JBA のコーチまたは審判のライセンスを有することを推奨します。